



[令和8年6月20日 定例会発表要旨]

「ジンギスカンの誕生の謎に迫る！ おいしい北海道の歴史物語」

まち歩き団体ディスカバーエゾ 伴野卓磨 様

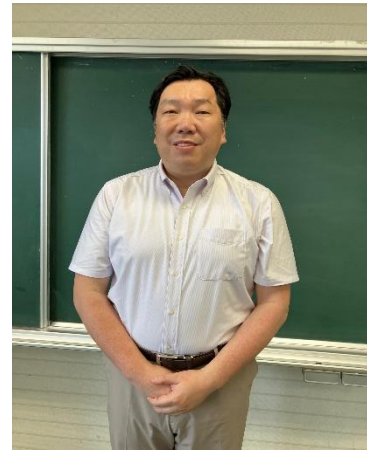
本講演では、北海道名物ジンギスカンの誕生を、明治以降の開拓史という長い時間軸からひもといた。明治政府は北海道開拓のロールモデルをアメリカ合衆国に求めた。黒田清隆は、気候風土の類似性・「西部開拓」の経験・富国強兵の観点から米国式を採用し、農務長官ホーレス・ケプロンを総合プロデューサーとして招聘する。牧畜のエドウィン・ダン、教育のクラーク、地質のライマンら、多彩なお雇い外国人が集結した。

その背景には、津軽藩士殉難事件に象徴される「蝦夷地の風土病」という健康問題（冬季の栄養不足）、そして殖産興業・文明開化という時代の要請があった。明治4年には札幌・七重・東京に官園（Government Farm）が設けられ、洋式農業と牧畜の試験が始まる。札幌農学校も開校し、お雇い外国人のコック原田伝弥が札幌初のレストラン魁養軒を開業し、西洋料理が普及していった。札幌で最初の羊料理は魁養軒で提供されたが、開拓使による牧羊事業は羊の病気のまん延などにより広がることはなかった。

エドウィン・ダンが真駒内に牧牛場を開き、農業現術生徒たちが酪農・牧畜業を道内各地へ広げていく。宇都宮仙太郎や町村金弥は酪農の礎を築き、内村鑑三は「外に失いしものを内にて取り戻さん」とデンマーク（フォルケホイスコーレ）に学ぶ内地開発の思想を説いた。

戦前、羊毛はオーストラリアやニュージーランドから輸入されていたが、防寒具として不可欠な羊毛は戦略物資として重視され、国家プロジェクトとして国産化を目指していくことになった。これが「綿羊百万頭計画」であり、北海道では月寒と滝川に牧羊場が設置された。年長いて羊毛が刈り取れなくなった羊は大量の「肉」として残される。この余剰こそがジンギスカン誕生の土壌となり、戦後つくられた川型鍋（ロストル鍋）が独特の食文化を定着させていった。

つまりジンギスカンとは、開拓使の壮大な国家戦略のもとで、羊・軍需・酪農・そしてビールまでが絡み合った北海道近代史の「結晶」にほかならない。何気ない一皿の郷土料理の背後に、北海道が歩んだ百五十年の歩みが凝縮されているのである。



子供夏休み歴史講座

本年夏休みに、小学校4, 5, 6年生を対象として「子供夏休み歴史講座」を以下の要領で開催いたします。

場 所 手稲区民センター3階 視聴覚室

1日目 令和8年8月7日(金) 13:30～15:00 1時間30分

「手稲からクジラの化石が見つかった」

講 師 札幌市博物館活動センター 田中喜寛 学芸員様

2日目 令和8年8月7日(金) 13:30～15:00 1時間30分

「手稲の昔話」

講 師 手稲郷土史研究会 会員

7月10日に、富丘小学校、稲積小学校、手稲鉄北小学校、手稲中央小学校を訪問し、案内を張っていただき出来れば、児童に呼び掛けてほしい旨依頼をしました。手稲中央小学校では、保護者連絡網でも連絡いただけるとのことでした。

また、富丘小学校と手稲中央小学校では、資料室を見せていただきました。

7月17日には、前田小学校、前田中央小学校、前田北小学校、新陵小学校の4校を訪問予定です



富丘小学校資料室「開拓の部屋」

日帰り研修旅行

以下の要領で決定いたしました。

日 時 令和8年10月24日(土) 午前8時15分 手稲区役所ロビー集合

訪問先 三笠博物館、ジオパーク、奔別炭鉱跡、千人塚史跡公園 他

定 員 45名

費 用 ￥5000 (昼食代 含まず) 募集人員40名目標

「大人の一日散歩」

5月4日に計画しました、「大人の一日散歩」が、悪天候のため中止になりました。

そこで、以下の要領で再度計画いたしました。

日 時 令和8年9月18日(金) 午前9時00分 手稲駅改札口集合

場 所 北海道大学構内、清華亭

「ていねこども歴史まつり」

昨年に続き、「ていねこども歴史まつり」を令和8年8月21日～23日の3日間、イオン手稲駅前店 1 階広場にて昨年同様 イオン北海道様と北海道科学大学様の協力を得て開催予定です。

詳細については次号にて連絡致します。

おめでとうございます

本会員の平木特別顧問が、6月4日 100才の誕生日を迎えました。
6月24日に、カラオケの会「歴水会」で誕生日会を行いました。



お願い

次回例会(8月15日)の茂内特別顧問の発表の際、「手稲歴史年表」をお持ちの方はご持参ください。

次回定例会 令和8年 8月15日(土) 13時30分～ 区民センター3階視聴覚室

発表内容 「軽川の明治期の古記録(書簡)発見」

手稲郷土史研究会 特別顧問 成内 茂雄

「手稲の砂丘で見つけたクジラの化石」

手稲郷土史研究会 特別顧問 若松 幹男

手稲郷土史研究会 会報「郷土史ていね」第219号 令和8年7月18日発行

発行責任者：沖田紘昭（手稲郷土史研究会 会長） 編集：菊池博行・伊藤政克

❖006-0818 札幌市手稲区前田8条11丁目4-5 林俊一 方 手稲郷土史研究会

*TEL 090-3381-4994 *FAX 011-682-9874

❖メールアドレス teinenorekishi@gmail.com 担当 菊池 博行